



特集

病院と訪問看護 患者の「退院直後」を連携で支える

地域包括ケアシステムの推進により、「時々入院ほぼ在宅」が現実のものとして視野に入りつつあります。治療を目的とした病院看護と、在宅生活の支援を目的とした訪問看護との間をつなぐのも看護の力です。実際にさまざまな形で訪問看護と連携し、在宅移行を実現させている病院は増えています。

本特集では、病院と訪問看護の連携、特に医療依存度の高い患者の在宅移行期の支援に焦点を当て、その重要性や活用できる制度の情報について解説するとともに、地域あるいは併設の訪問看護事業所と連携して退院支援に取り組む病院の実践を紹介していきます。

訪問看護と病院の連携による退院支援の動向と期待 ●奥田清子

退院直後の心配な時期こそ訪問看護の利用を 活用できる制度と在宅移行のコツ

●北澤彰浩

リソースナースと訪問看護ステーションが連携した、重症患者の在宅移行期の支援

●間宮直子／池田恵津子

訪問看護事業所との連携で医療依存度の高い患者の在宅療養を支援する

●飯尾美和

退院直後の再入院を防ぐ、移行期支援に必要なポイント ●深澤香織

病院から訪問看護ステーションへの出向システムの成果 ●中島由美子

巻頭

大学院で学ぶ看護管理学 現場の実践から新たな「知」を生むために②
青森県立保健大学大学院

特別記事

諏訪中央病院における多職種連携研修の取り組み ●山岸紀子／春田淳志

編集後記

▶2017 年もどうぞよろしくお願い申し上げます。この編集後記は 11 月末に書いており、相変わらずの自転車操業状態で、新年を無事に迎えられる気がしていません。本号が皆さまのお手元に届く頃には落ち着いていられるとよいのですが…。	▶新年明けましておめでとうございます。気づけば私にとって 2 度目の新年号となり、時の流れの早さを実感しています。自宅にはいつの間にかこたつが現れ、例年のごとく飼猫と場所取り合戦をしています。猫の行動で不思議なのが、夏は家の中で一番涼しい場所、冬は一番暖かい場所にいつの間にか陣取っていることです。こたつで暖まっていたと思ったら、暖房をつけた途端に出てきて最も温風の当たるソファに移動します。なんだか悔しいので、暖房をつけておき出す、こたつの場所を確保する、暖房を消すということをしていましたが、
「来年こそは脱・自転車操業」と毎年編集後記に書いている気がしますが、2017 年こそは! (汗)	なんだか切ない顔でこちらを見るのでやめました。
▶本号 8 ページに掲載の広告にございますように、看護管理者の方々を対象に弊社主催セミナー「ナースingkカフェ」を久しぶりに開催させていただきました。本号で全 18 回の連載が最終回を迎えた市瀬博基先生はじめ弊誌でおなじみの 3 人の講師をお迎えし、ご自身のマネジメントや組織全体のありようについて少し落ち着いて振り返っていただくための機会をご提供します! 講師のお人柄もあり、楽しいセミナーになると思います。看護師長さんと主任さんなど、1 施設から複数名のご参加も大歓迎です。お申し込みをお待ちしております。	▶そんな中、この場で何度か話題としました「ビール検定 (通称びあけん)」の 3 級と 2 級同時受験の可否通知が届きました。結果は 3 級のみ合格、2 級は 70 点の合格ラインまで 9 点足りず不合格でした。2 級合格を今年の目標の 1 つとして、まずはお正月に猫とこたつで暖まりながらビールを楽しみたいと思います。
(小齋)	(宇津井)

看護管理 第 27 巻第 1 号

2017 年 1 月 10 日発行 (毎月 1 回 10 日発行)

発行 株式会社医学書院

代表者: 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2017, Printed in Japan

定価 本体 1500 円 + 税

2017 年年間購読料

冊子版 本体 16920 円 + 税

冊子 + 電子版/個人 本体 19920 円 + 税

電子版/個人 本体 16920 円 + 税

(いずれも送料弊社負担)

『看護管理』編集室 (担当: 小齋, 宇津井, 伊藤)

TEL03-3817-5777 FAX03-5804-0485

E-mail kangokanri@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp

[年間購読のお申し込み先]

医学書院販売部 TEL03-3817-5659

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は、株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(出版者著作権管理機構委託出版物) 複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構の許諾を得てください (TEL03-3513-6969 FAX03-3513-6979 info@jcopy.or.jp)。

本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された [0917-1355/16/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPY] は、1 論文 1 回複製の料金を明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPY へのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。

*「看護管理」は、株式会社医学書院の登録商標です。